

###free1###

###name###

=====

理念経営のすすめ

5回シリーズ 第2回 GD4つのテーゼ

著者：(株)I&C・HosBiz センター

理念経営推進本部長

社会保険労務士法人 井上敬裕事務所

中小企業診断士、社会保険労務士

井上 敬裕

=====

令和の時代が明けました。平和で「清豊」の時代になりますように祈念します。

すみません。配信が1週間遅れたことをお詫びします。

5回シリーズの第2回です。バックナンバーは、下記のURLを参照ください。

なお、このURLは6月一杯有効です。

<https://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

\*\*\*\*\*

## 7月度 会計人セミナーの予告

7月17日(木) 14:30~17:00 TKP秋葉原カンファレンスセンター

講師 (株)アルパーコンサルティング代表の古川忠彦氏をお招きし、

テーマ 「経営革新等認定支援機関として成果を上げるためのノウハウ公開」

詳細は下記のURLでご案内いたしますのでご期待ください。

[https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_170.pdf](https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_170.pdf)

第2回 GD4つのテーゼ

### 1. 存在の必然性

前回「理念経営とは」について説明しました。そのなかで、理念経営は、単なる経営理念を中心とした経営手法のことではなく、経営理念の前に存在理念があり、人間の存在意義とは、世界の存在意義とはなどの世界観に基づく、経営の考え方とそのしくみのことであると説明

しました。

理念経営の根本にある世界観は、この世界は GD（創造神）によって創られたものであるという世界観です。したがって、この世界に存在するものは、すべて意味があり、必然性があると考えます。経営でいえば、日々の経営で起こる様々な出来事は、意味があり、必要だから起きていると考えます。

## 2. GD4 つのテーゼ

このように GD が創造したという世界観を持つため、世界に存在するものは目的性、意味性、必然性を持つと同時に、GD の創造は気まぐれではなく原理原則（ルール）によってなされたため、存在の在り方においては原理原則（ルール）があると考えます。

この原理原則（ルール）のことを「GD4 つのテーゼ」と言います。

ルールというと、何か堅苦しい戒律のようなイメージを持つ方がいるかもしれませんが、「GD4 つのテーゼ」はそのようなものではなく、人間が幸福になるために必要な最低限のルールのようなものです。理念経営はつまるところ愛の経営であると前回述べましたが、「GD4 つのテーゼ」の根本にあるのは戒律ではなく愛であるからです。

## 3. 「どんな時も争い戦わない・奪わない」（平和の原則）

「GD4 つのテーゼ」の一番目は、「どんな時も争い戦わない・奪わない」です。

経営においては、経営戦略という言葉があるように、戦わないとはどういうことかと思う人もいますが、ここでいう「戦い争わない」というのは、競争を否定するという意味ではありません。あくまで競争はフェアプレーで行いましょうということです。

理念経営においては、経営成績、数字というのは結果であり。結果は与えられるものです。

商品やサービスは顧客のために与えるものであり、仕事は従業員に対して会社に貢献する中で自己実現と生活の糧を与えるものです。自分本位に顧客や従業員を利用する（奪う）という考え方はありません。

## 4. 「既成概念や常識にとらわれない」（個性の尊重）

次に「既成概念や常識にとらわれない」というテーゼです。

これは個性を尊重するということです。人はそれぞれが全く違った個性を持っており、それぞれの好みや強み、特技などは異なるものです。したがって、その人の持っている個性を最大限に発揮してもらうことを大切にします。

経営においては、過去の経験や業界の常識・慣習を判断基準にして経営を行っていくことが多いですが、理念経営では、それらにとらわれない考え方や発想こそが企業の維持・発展に必要な不可欠と考えます。理念経営が持つ価値観の一つに未来志向というのがありますが、未来志向は個性の尊重があってこそ可能となります。

## 5. 「自分と考え方の違うものを排斥しない」（共生の原則）

3 番目は「自分と考え方の違うものを排斥しない」ということです。

これは多様性を尊重するということです。世の中には様々な価値観を持った人が存在しますが、価値観が違うからといって、否定や差別をしないということです。

多様性を認めない社会では、自由が奪われ、戦争につながっていくということを我々は歴史を通して知っています。

「平和の原則」と「個性の尊重」を守るためには、「共生の原則」が不可欠です。

## 6. 「他人の自立性を干渉しない」(自立性の尊重)

最後に「他人の自立性を干渉しない」ということです。

自立性を干渉するという事は、個性の尊重を否定することでもあり、命令で相手を縛り、受動的、受け身の発想に相手を追い込んでしまいます。

また受動的な発想からは、やりがいも感じられないし、結果に対する責任も感じられないものです。本人のやりたいという気持ちを理念経営では尊重します。

今回は、「なぜ今理念経営か」とうテーマで解説します。

===== お知らせ =====

◆「令和」が始まり新しい経営環境が出現します。新企画としてセミナーが2コース 開催していますのでご案内申し上げます。

### 1. 「理念経営セミナー」;

令和の時代が始まり、新しい社会に移行していくことでしょう。

新しい価値体系(理念)による「世のため、人のため」の企業経営が求められるでしょう。

新しい時代「令和」の経営指針を示し、同朋の方々と共生して参りますので、出逢いをお待ちしております。

### 2. 「LW セミナー」はスピリッツ系に親しみを持つ経営者・経営支援家や一般市民の人々が対象。 LWとはライトワーカーの略称で、世界平和・地球環境・貧困等の改善をミッションと感じている人です。

このセミナーに参加すると自分がLW かしっかりと覚醒します。

毎回 Captain 平本が、理念経営の基本とGD(創造神)とのコラボについてお話しします。

各界でご活躍の先達の方々から経験談をお話いただき、「魂の同窓会」をいたします。

お時間は2時間です。

詳しくは URL ; [https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_144.pdf](https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_144.pdf)

=====

### ■理念経営セミナー

(注: 6、7月はお休みします。)

=====

■LW セミナー 第5回 ライトワーカー（1W）の方々の「清豊」の実戦方法！

6/20（木）15:00～17:00 JBG・研修室（後樂園） 1,000円

＊＊・事業承継・・経営者の最大の任務は次世代を担う後継者の育成と魂の器を大きくすること

講師 中村 直人氏＊＊

詳しくは URL：[https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_145.pdf](https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_145.pdf)

◆6月27日（木）13:30～16:30、東京北区「北とぴあ」

「AI・RPAをいかに利活用して倒産時代を勝ち抜くか」を開催

AI・RPAがもたらす社会とは？

その活用はいかに進めるべきか。

中小企業の支援を行う会計人や経営支援家にとって必聴なセミナーです。

多くの会計人や経営支援家の方に参加いただき、その手法を理解いただきたたく存じます。

案内パンフはこちら→ [https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_168.pdf](https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_168.pdf)

（株）I&C・HosBiz センター

理念経営.net <http://理念経営.net/>

メールアドレス：[hos\\_biz@hosbiz.net](mailto:hos_biz@hosbiz.net)

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：鈴木 香織

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a\\_mail=###mail###](http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###)